

「とやま新幹線延伸戦略（仮称）」の策定について

令和4年度末に予定されている北陸新幹線の敦賀開業、さらには大阪までの延伸を展望し、観光振興、移住・定住の促進、産業振興など、新幹線延伸の効果を最大限に引き出し、その効果を県内各地に広く波及・拡大していくため、昨年8月に「とやま未来創造県民会議」のもとに、市町村、経済界、観光・交通関係者や有識者等からなる「新幹線延伸戦略検討委員会」（委員長：高木 繁雄 富山県商工会議所連合会長）を設置し、新たな戦略の策定に向けてご議論いただきましたが、このたび、検討結果が取りまとめられました。

1 検討の経過等

令和元年8月19日	第1回新幹線延伸戦略検討委員会 (開業効果の検証、戦略の検討の方向)
令和元年8月～11月	新幹線延伸に関する県民意識調査（県政世論調査）、 県内観光・交通事業者等へのアンケート調査、 関西圏・首都圏等住民に対する意識調査 の実施
令和元年12月3日	第2回新幹線延伸戦略検討委員会 (調査結果の概要、素案の検討)
令和2年2月13日	第3回新幹線延伸戦略検討委員会 (最終案とりまとめ)

2 戦略の概要

・基本戦略1 魅力あるまちづくり・地域づくり

富山県の玄関口である3つの新幹線駅を核とした広域交流を促進するとともに、地域の個性を活かした魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進
(新幹線駅とその周辺地域の活性化・アクセスの向上、富山のブランドカアップ 等)

・基本戦略2 ものづくり産業の拠点化

県内企業の生産性向上や競争力強化、富山の強みを活かした成長産業の育成に取り組むとともに、企業誘致を推進するなど、多様なものづくり産業を集積
(第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成、魅力的な企業立地環境の整備 等)

・基本戦略3 選ばれ続ける観光地づくり

富山ならではの魅力ある観光資源の磨き上げと戦略的な発信により、国内外の旅行者が繰り返し訪れ滞在する観光地づくりを推進
(戦略的な観光地域づくり、広域観光の拠点化、戦略的なプロモーション、国際観光の推進 等)

・基本戦略4 移住・定住の促進、応援人口の創出・拡大

将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、応援人口（関係人口）の創出・拡大を図るとともに、移住・U I J ターン促進のための取組みを展開
(移住体験機会の拡大・移住者受入体制の強化、応援人口の創出に向けた都市との交流促進 等)

3 今後の予定・取組み

今後、県議会における議論や現在実施中のパブリックコメント（2/21～3/12）による県民の幅広いご意見を踏まえ、今年度末までに戦略を策定し、新年度から、観光誘客や産業振興、移住・定住の促進など、戦略に基づいた各分野の取組みを総合的かつ戦略的に推進することとしている。

(県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/kj00021530.html)